

2023年2月15日

2019年2月から2022年12月の間に、木沢記念病院、中部国際医療センターにて大腿膝窩動脈病変に対して血管内治療を受けた患者様へ

「EVTにおけるアプローチ方法の違いが被ばく線量、造影剤量に与える影響に関する研究」への
協力をお願い

放射線技術部では、過去または現在に下記のような治療を受けた患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

中部国際医療センターにて大腿膝窩動脈病変に対して血管内治療を受けた患者様

② 研究の期間

2019年2月1日～2022年12月31日

③ 研究の目的

本研究は、EVT（Endovascular Treatment）におけるアプローチ方法の違いが被ばく線量、造影剤量に与える影響について検証することを目的としております。

④ 研究の方法

2019年2月から2022年12月の間に、木沢記念病院、中部国際医療センターにて大腿膝窩動脈病変に対して血管内治療を受けた方につきまして、診療録に基づく臨床情報を用いた後方視的調査研究を実施いたします。また、個人情報とは連結可能な匿名化をします。

⑤ 研究責任者

井藤 大貴 所属 中部国際医療センター 放射線技術部

⑥ 共同研究者

山田 雄大 所属 中部国際医療センター 循環器病センター循環器内科 医長

⑦ 指導研究者

青山 琢磨 所属 中部国際医療センター 循環器病センター循環器内科 センター長

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター 放射線技術部

TEL:0574-66-1100 FAX:0574-66-1661

責任者氏名：井藤 大貴